

災害時の保健活動 Basic Series (e-learning)の構成

— すべての応援者の“共通基盤” —

<https://www.jpha.or.jp/sub/menu044.html>

* 1. ミニмум・エッセンス を最初に視聴することをお勧めします。

1. 災害時の保健師等広域応援派遣前に確認したいこと ミニмум・エッセンス (29分)

2. 災害時の保健師等広域応援派遣前に確認したいこと 各論

2-1 保健師等チームが担う“現場を機能させる支援” (10分)

・活動の場所、内容、留意点、具体事例

2-2 フェーズ0-1(概ね発災後72時間以内)における保健活動(ミニмум・エッセンス:スライド33)

・1班の役割

2-3 フェーズ2(避難所対策が中心の時期)における保健活動(ミニмум・エッセンス:スライド33) (9分)

・避難所での支援と報告・引継ぎ、自助、共助の醸成など

2-4 フェーズ3における保健活動(ミニмум・エッセンス:スライド33)

3. 中長期派遣における保健活動

・受援側の意識、応援側の意識

4. 保健師等広域応援派遣活動を効果的に行うためのロジスティックス等

・チーム内の役割分担、持ち物、体調管理など

災害時の保健活動 Basic Series (e-learning) (20260306)

2. 災害時の保健師等チーム広域応援派遣前に確認したいこと 各論 2-1

保健師等チームが担う “現場を機能させる支援” (情報管理、調整・連携、マネジメント)

あなたは
ひとりじゃないよ



本教材の位置づけ・目的と主な活用対象者

位置づけ

「災害時の保健活動Basic Series」の内容は、経験や立場に関わらず、すべての応援者が現場で保健活動をする時の“共通基盤”になることです。

目的

災害時の保健師等チーム広域応援派遣前に、保健師等チームの活動の基本と“現場を機能させる支援”（情報管理、調整・連携、マネジメント）を理解する

主な活用対象者

保健師等チームの一員として被災地支援の実務を担う保健師等

内容 (10分)

1. 保健師等チームの活動の基本
2. 目的「防ぎ得た死と二次健康被害の最小化」のために
“現場を機能させる支援”
3. 保健師等チームが担う“現場を機能させる支援”を効果的に行うための準備



1. 保健師等チームの活動の基本

あなたは、どのようにイメージしていますか？

災害時の保健師等チームは、被災者の健康の維持、二次健康被害や災害関連死の防止に貢献するあらゆる活動を担う

■ 広域応援派遣による保健師等チームの活動の基本*

目的:被災者の健康の維持、二次健康被害や災害関連死の防止を図る

活動:災害対応活動として、被災者の健康管理や避難所等の衛生対策等

➡ 保健師等チームの活動は、被災者の健康管理等の直接(対人)支援ではありません

平時と同様に、

“現場を機能させる支援” (情報管理、調整・連携、マネジメント)があるからこそ、直接(対人)支援は成り立ちます。

それは、現場を前に進める力そのものです。

災害時の保健師等チームは、 被災自治体の指揮命令の下、チームとして切れ目なく機能する ①

■ 広域応援派遣による保健師等チームの活動の基本*

活動:被災都道府県の保健所長、被災市区町村の長等の**指揮命令の下**、DHEAT
及び他の保健医療福祉活動チーム等と**連携**して進める

- ・活動の最小単位: **班**
- ・班が順次交代して継続して業務に当たる
一連の単位: **チーム**

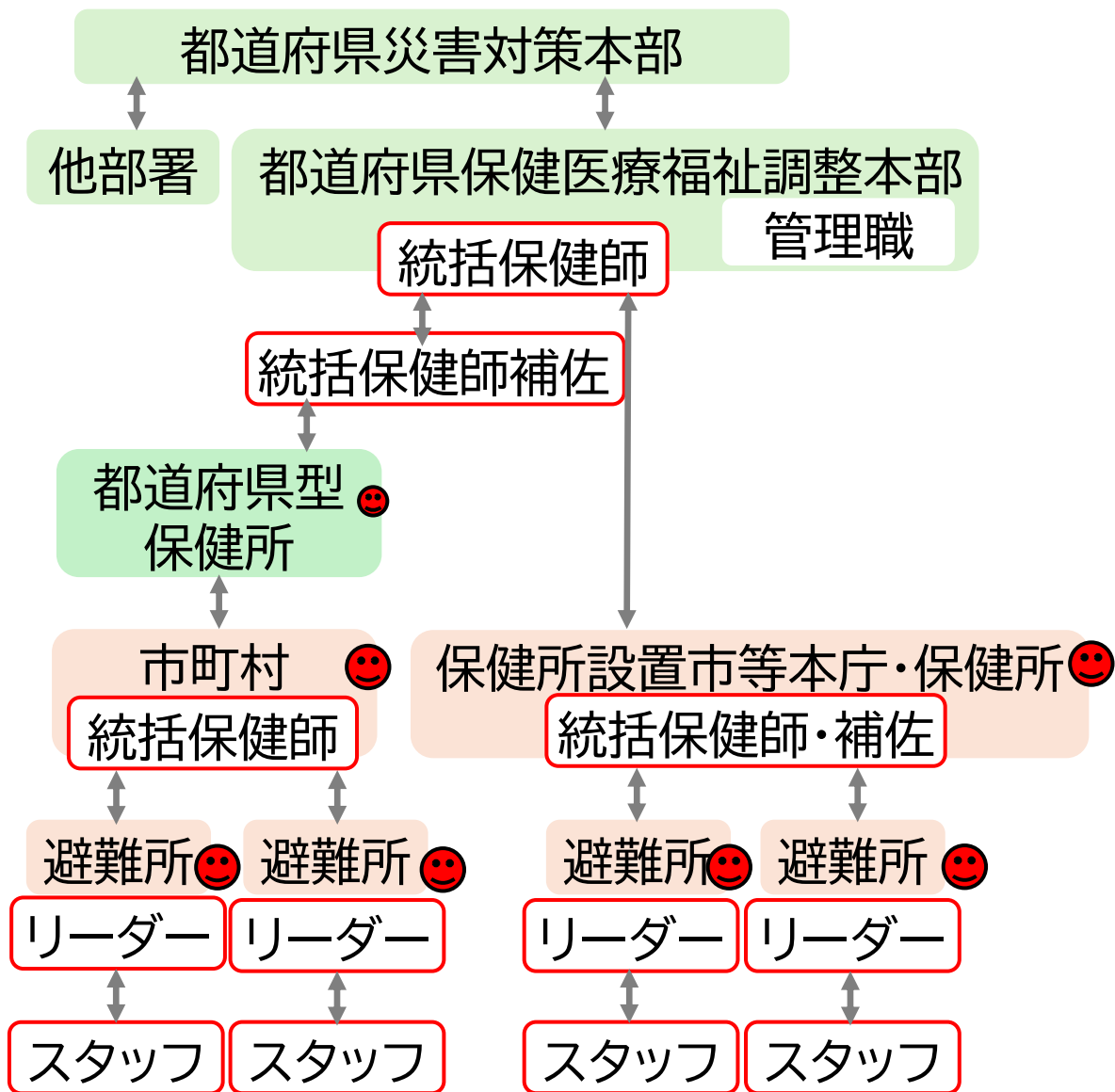
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	...			
A チ ーム	A①班																						
							A②班																
												A③班											
チ ーム B				B①班																			
											B②班												

➡ 切れ目なく機能するために

- ・活動初日: 前の班から引継ぎを受け、活動方針や被災自治体からの依頼内容を正確に把握する
- ・最終日: 活動の方針・内容・方法や残された課題等を次の班へ引き継ぐ
- ・被災自治体の組織(指揮命令系統)の中のチームであることを意識する (次のスライドを参照)

災害時の保健師等チームは、

被災自治体の指揮の下、チームとして切れ目なく機能する ②



自分の配置場所や役割に合わせて、
応援業務を担う
(指揮命令系統:適宜、連絡・報告・相談)

😊:保健師等チームのメンバーが配置されることが多い場所

災害時の保健師等チームは、**派遣元の都道府県と市区町村が連携して行う後方支援を受けながら**効果的かつ効率的に活動する

■国、都道府県、市区町村及び保健師等チーム事務局の役割*

派遣元の都道府県と管内市区町村は連携して、

- ・**事前(応援派遣前)のオリエンテーション**を実施する
- ・効果的かつ効率的な災害対応活動の実施及び継続に向け、**応援派遣中の職員への情報提供や助言等の後方支援**を行う
- ・都道府県は、管内市区町村に対しては適宜、被災地の状況や保健師等チームの活動状況についての**情報共有**を行う。

➡ **事前(派遣前オリエンテーション時など)に、後方支援を受ける方法を明確にしましょう**



2. 目的「防ぎ得た死と二次健康被害の最小化」のために“現場を機能させる支援”

組織の目的「防ぎ得た死と二次健康被害の最小化」のための “現場を機能させる支援”（主な内容）

1. 計画と資源の調達・分配

- ・住民等への啓発資料作り/既存資料の探索と活用
- ・保健活動に必要な様式の作成・準備
- ・紙面の個別健康情報の電子データ化+応援者へのシステム入力方法の指導
- ・支援活動が進んでいない他地域への支援

2. 組織づくり

- ・同時期に活動する複数の保健師等チームの組織化

3. 統制と問題解決

- ・複数の保健師等チームからの情報集約・伝達と不足活動の抽出・調整、管理職や上部組織（被災市区町村の統括保健師、保健センター長、等）への報告・提案
- ・集約データの分析や会議資料・ロードマップ作り、会議へ同伴出席し記録・報告
- ・次の班への引継ぎ事項の相談・調整
- ・DHEAT等、他の支援チームと協働・調整

最終決定は被災地保健師等が行う
これらの一部をサポートすることで、
被災地保健師等が判断・決定する時間に
余裕が生まれ対策を円滑に進められる

“現場を機能させる支援” 例1

1.被災市区町村へ支援に入った被災都道府県保健師の業務をサポート

【フェーズ2】 避難所が増え、健康相談の件数が増加

😊 被災市保健師 「紙面の記録が貯まって整理しきれない」

😊 被災県保健師 「被災市への支援業務が多すぎて手が回らない」

【行った支援】

😞 被災県が担う支援業務の一部を分担または支援業務の関連事務作業をサポートした

😞 被災市保健師が整理しきれない紙面の記録の整理を申し出て、市保健師の意向に沿って整理した

😞 被災県保健師へ、適宜、保健師等チームが請け負った活動の相談や提案、活動結果の報告や結果を踏まえた提案をした

【結果】

全体像が共有され、被災市保健師が住民対応と優先業務の判断に集中できるようになった
“情報管理”と“連携・調整”することが、現場の判断を早めることにつながった

😊 被災自治体の保健師 😞 保健師等チームのメンバー

2.被災市区町村の保健師からの依頼を受けて活動

【フェーズ2～3】 自主避難所や在宅の避難者の状況がみえない

😊 被災市統括保健師 「自主避難所や家にいる高齢者の実態を知りたい」

【行った支援】

😞 同時期に活動している他の保健師等チームと相談し、調査方法を検討し記録様式を作成した

😞 調査方法等を被災市保健師に確認後、プレ調査を経て本調査を実施した

😞 被災市統括保健師へ調査結果を報告した

【結果】

地域の高齢者の全体像が把握され、被災市統括保健師は活動方針をたてることができた

“情報管理”が、現場の適切な判断につながった

“現場を機能させる支援” 例3

3. DHEATと連携して活動

【フェーズ2～3】 多様な応援者が入り多様な活動が展開

😊 被災市統括保健師 「活動を統制しきれない、、」

【行った活動】

😞 被災市統括保健師の考えを踏まえ、保健師等チームの活動をまとめてDHEATと共有した

😞 本部の方向性をDHEATから情報提供してもらい、それに沿った保健師等チームの活動を調整した

【結果】

自治体としての方向性が整理され、被災市統括保健師が複数の支援チームを統括しやすくなった
“調整・連携”することで、組織の統制につながった

😊 被災自治体の保健師 😞 保健師等チームのメンバー

“現場を機能させる支援” 例4

4. 他の保健師等チームの相談を受けて、被災市統括保健師経由で被災都道府県の保健師へ報告・検討

【フェーズ2】 各保健師等チームの活動において残された課題の引継ぎ

☹️ 他の保健師等チーム 「残された課題がある。どのように引き継いだらよいか、」

【行った活動】

☹️ 被災市保健師へ「引継ぎ内容・方法について検討したい」と相談した

☹️😊 被災市の統括保健師が、被災県の保健所保健師へ報告し、3者で相談した

☹️ 保健師等チームが引継ぎ内容と方法(様式含む)を提案し、3者での確認を経てマニュアル化した

【結果】

😊 保健師等チームからの報告内容を参考に、被災市統括保健師が被災県へ適宜、報告した

“情報管理”と“調整・連携”をすることで、自治体として保健活動の課題の把握や、各保健師等チームの残された課題が引き継がれた

😊 被災自治体の保健師 ☹️ 保健師等チームのメンバー



3. 保健師等チームが担う“現場を機能させる支援” を効果的に行うための準備

“現場を機能させる支援”を効果的に行うための準備

1. 事前オリエンテーションに参加して現地の状況や活動、留意点を知る

- ・具体的な情報が取れる場に参加する(自自治体、管轄保健所、他保健所等が開催)
- ・国のサイト(Basic Series 1. ミニマムエッセンス: 応援保健師としての姿勢・心構えの意味)を確認

2. 現地で使用している記録ツールを使えるようになる

- ・記録ツール 例) マス情報: D24H <https://www.d24h.mhlw.go.jp/>
ラピッドアセスメントシート <https://www.mhlw.go.jp/content/001590275.pdf>
個人情報: 標準的なヒアリングシート <https://www.mhlw.go.jp/content/001589803.pdf>

3. 後方支援を受けられるルートを確認する

- ・ロゴチャット、Line、、
- * 派遣元自治体へ弱音を吐いても大丈夫。不安や困ることがあったら随時、連絡して助言を仰ぐ！
必要時、随時、相談・報告して状況判断と支援活動の方向性を確認する！
- * 定期的(時期により1~2回/日または1回/2日程度)に活動状況や自身の状態を報告して確認する
- * 新任期でも、どこで勤務していても、保健師として公衆衛生看護の基本理念に基づき活動できる！
但し、保健活動の方法や手段は各自治体で異なるので現地の方に確認する。

被災地の人たちも
応援に入る人たちも
決して、ひとりじゃない

チームの活動一つひとつが地域を前に進めます
被災地での保健活動に協力して下さい、ありがとうございます

あなたは
ひとりじゃないよ



一般財団法人 日本公衆衛生協会
令和7年度 健康危機緊急時対応体制整備事業
健康危機管理支援事業運営会議 健康危機管理研修検討作業部会

「災害時の保健師等活動に関する研修班」

千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科 准教授

雨宮 有子（班長）

大分県福祉保健部健康政策・感染症対策課 課長

池邊 淑子

神戸市こども家庭局こども家庭センター 調査役

山崎 初美

帝京大学大学院公衆衛生学研究科 教授

高橋 宗康

※R7年度の所属・職位を掲載